

がん対策専門委員会

(平成 25 年度)

がん対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 がん対策専門委員会

委員長 杉山 一彦

I. はじめに

本委員会の役割のひとつは、国の方針であるがん対策基本法のもとで、質の高いがん医療を広島県内の居住地にかかわらずどこでも受けられるようにするために設けた「がん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）」について、各医療機関の調査を行い評価し、その機能強化を図ることにある。

また、拠点病院がその機能を十分に発揮するためには、広島県内のがん医療に関わるすべての医療機関が、がんの種別毎にネットワークを形成して、検診、精密検査、周術期治療、フォローアップを分担して行う体制づくりも必要と考えてきた（図1）。そこで、本委員会の下にがんの種別毎に専門家を糾合し特別委員会またはワーキンググループをつくり、ネットワークを構築に取り組み、平成 24 年度に 5 大

がんすべてのネットワーク構築が完了し、実際に機能することを目指し、構築したネットワークが実際に機能しているかについての検証などに取り組んだ。

また、平成 25 年度から「第 2 次広島県がん対策推進計画」がスタートし、医療分野の推進方策についても協議した。

II. 拠点病院について

県内には国指定の 11 医療機関のほかに県独自の指定で 5 つの医療機関が指定され、広島県のがん医療の拠点としての役割を果たしている。

平成 26 年 1 月に拠点病院の新たな整備指針と指定のスケジュールが国から示され、平成 26 年度は、現行の要件で 1 年間指定延長することとなったため、新要件を受けての広島県の今後のがん医療体制を来年度協議する必要がある。

がん医療ネットワークの構築

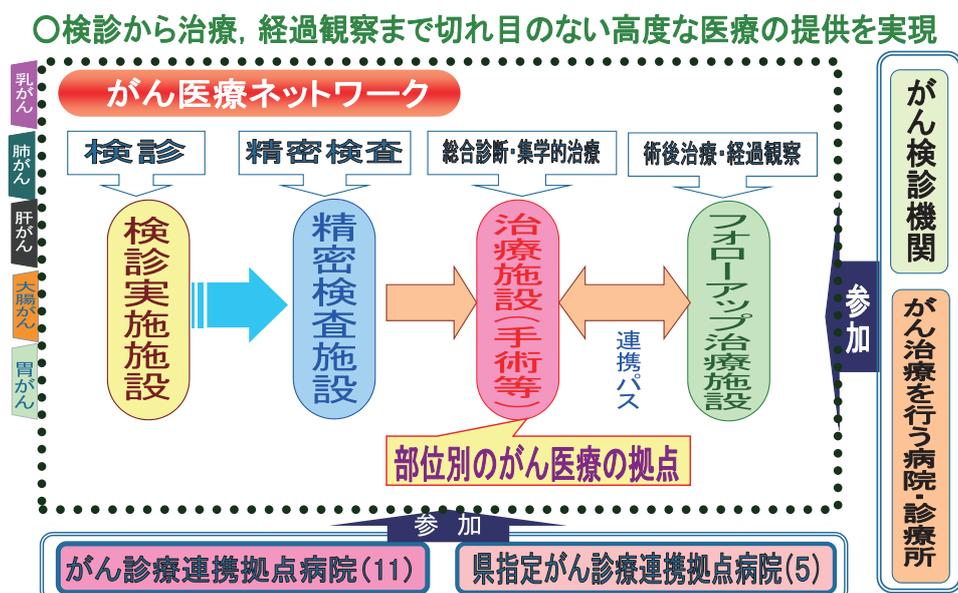


図1 広島県におけるがん医療ネットワークの構築

Ⅲ. がん医療ネットワークについて

検診から治療、経過観察までを、一定の医療水準が保たれた切れ目ない医療を実現するために、がん医療ネットワークの構築を進めてきた。広島県内では、平成 21 年（2009 年）度の“乳がんネットワーク”，平成 22 年（2010 年）度の“肺がんネットワーク”につづいて平成 24 年度（2012）に“肝がんネットワーク”，“大腸がんネットワーク”，“胃がんネットワーク”が構築され、いわゆる 5 大がんについてのネットワークが完成した（表 1）。そして、各ネットワークの各医療機関と患者をつなぐツールとして作成している「私の手帳」も 5 がんすべてで整備した。

表 1 広島県における 5 大がんの医療ネットワーク

	発足年度	委員長
乳がんネットワーク	平成 21 年（2009 年）	檜垣 健二
肺がんネットワーク	平成 22 年（2010 年）	岡田 守人
肝がんネットワーク	平成 24 年（2012 年）	茶山 一彰
大腸がんネットワーク	平成 24 年（2012 年）	岡島 正純
胃がんネットワーク	平成 24 年（2012 年）	岡島 正純

今年度は、先行してスタートした、乳がんおよび肺がんについて、拠点病院での「私の手帳」の活用状況調査とフォローアップ施設に対するネットワークの運用状況のアンケート調査を実施した。ネットワークは完成したものの、その本格的な運用はこれからであり、拠点病院の医師の意識の変化や多職種連携の推進が必要であるとの意見があった。

また、これらの結果などを受けて、乳がん医療連

携推進ワーキンググループと、肺がん医療連携推進ワーキンググループを開催した。

乳がん医療連携推進ワーキンググループでは、乳がん専門医および認定医の育成状況の報告やネットワーク各施設群の医療基準の確認などについて協議された。

肺がん医療連携推進ワーキンググループでは、ネットワーク各施設群の医療基準の確認と調査票の内容について協議したほか、啓発を継続しネットワークの充実に取り組むこと、低線量 CT 検診によりがんを早期に発見する体制構築について協議された。

Ⅳ. 5 大がん以外の医療体制について

今年度、甲状腺がんおよび前立腺がんについて、クリニカルパス検討ワーキンググループを立ち上げ、医療体制の検討と患者と医療者をつなぐ「私の手帳」の検討を行った。

Ⅴ. おわりに

第 2 次広島県のがん対策推進計画がスタートしたが、実際の成果として、がんの年齢調整死亡率の低下などを示していく必要がある。広島県の医療の強みである地対協の枠組みを活用し、医療ネットワークをより効果的なものにする必要がある。これに寄与する取り組みとして、広島県医師会による“がん対策サポートドクター”（がんよろず相談医）の認定事業進んでいる。この制度は、かかりつけ医によるがん検診の受診勧奨やがん医療の情報提供をはかる上で有用であり、がん対策の大きな力になると思われる。

広島県地域保健対策協議会 がん対策専門委員会

委員長	杉山 一彦	広島大学病院
委員	有田 健一	広島県医師会
	栗井 和夫	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	岡島 正純	広島市民病院
	岡田 守人	広島大学原爆放射線医科学研究所
	笠松 淳也	広島県健康福祉局
	鎌田 七男	広島原爆被爆者援護事業団
	菊間 秀樹	広島県健康福祉局
	桑原 正雄	広島県医師会
	小林 正夫	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	篠崎 勝則	県立広島病院
	臺丸 尚子	広島市健康福祉局保健部
	茶山 一彰	広島大学
	豊田 秀三	広島県医師会
	永田 靖	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	檜垣 健二	広島市民病院
	檜谷 義美	広島県医師会
本家	好文	広島県緩和ケア支援センター